

予防医療センター人間ドック/内視鏡センターの上部消化管内視鏡検査で胃アニサキス症と診断された受診者様/患者様の診療情報をういた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>予防医療センター</u> 職名 <u>准教授</u> 氏名 <u>井上 詠</u> 連絡先電話番号 <u>03-6910-3533</u>
実務責任者	所属 <u>予防医療センター</u> 職名 <u>准教授</u> 氏名 <u>井上 詠</u> 連絡先電話番号 <u>03-6910-3533</u>

このたび当院では、上記で受診された受診者様/患者様の診療情報をういた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2012年8月1日より2018年12月31日までの間に、予防医療センターにて人間ドックのため受診し上部消化管内視鏡検査を受けた方、および内視鏡センターで上部消化管内視鏡検査を受けた方で、胃アニサキス症と診断された方。

2 研究課題名

承認番号 20180324

研究課題名 人間ドックで発見された無症候性胃アニサキス症の症例解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学病院予防医療センター

4 本研究の意義、目的、方法

胃アニサキス症は寄生虫アニサキスが寄生した海産魚類を食したあとに激しい腹痛、悪心、嘔吐などの消化器症状を認める寄生虫感染症(食中毒)ですが、日本人は生食をする機会が多く、近年、

増加しています。一方で健康診断や人間ドックの上部消化管内視鏡検査の際に胃内にアニサキスが発見される、無症候性(症状のない)胃アニサキス症の存在も報告されています。しかしどのくらいの頻度で無症候性胃アニサキス症が起こるのか、症状のある胃アニサキス症と臨床的な特徴が違うのかなどはあきらかになっていません。

この研究では本施設で行っている人間ドックの際に偶然発見された(症状のない)胃アニサキス症の方の内視鏡所見や原因となる食材を食べたか、血液検査で炎症所見がみられるかなどをまとめて解析します。その上で、胃痛・腹痛などの症状で本施設を受診し内視鏡センターで実施された内視鏡検査で胃アニサキス症と診断された方の特徴と比較することにより、胃アニサキス症の疫学、病態や臨床像を明らかにします。

5 協力をお願いする内容

診療録の閲覧(医師記録、看護記録、質問票) 検査画像データの閲覧

6 本研究の実施期間

研究実施許可日~2021年3月31日(予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 2) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 3) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究実施責任者: 井上 詠

連絡先: 慶應義塾大学病院予防医療センター 電話 03-6910-3533(平日9時~16時30分)

以上